

統計グラフコンクール審査講評

平成29年度和歌山県統計グラフコンクールにおいて受賞されました皆様方、おめでとうございます。県下より各部門において合計61点(81名)の作品が応募されました。

その作品を、テーマの選択、データ理解、統計グラフの表現技術、正確性、要件の充足状況、全体のまとめ方に重点をおいて審査しました。

その結果、特選4点、入選5点、佳作5点、合計14点を入賞作品として決定しました。

第1部 小学校1・2年生の作品

第1部の作品からは、特選1点、入選1点が入賞しました。

「自てん車のルール知ってる？」では、学級でアンケートをとった結果を絵グラフにまとめています。調べた結果を項目ごとに、絵や色を工夫して分かりやすく絵グラフ・円グラフ等を使って表すことができました。

「なか2C どうもろこし大すき」は、学級30人に『どうもろこしを育てたいと思った理由や育てた感想』『食べてみたいどうもろこしメニュー』等アンケート項目もよく考えられていて、円グラフ・絵グラフ・棒グラフ等いろいろ工夫してまとめることができました。どうもろこしが大好きな気持ちが伝わってきました。

この2作品は、自分の興味のあることについて、アンケートをとってそのデータを分かりやすくするためには、どんなグラフに表せばいいかよく考えられていました。

第2部 小学校3・4年生の作品

第2部の作品の中から、特選1点、入選1点、佳作1点の合計3点が入賞しました。

「4年生までの漢字を大調査」は、漢字の好き嫌いのアンケートを学級のみんなにとり、『嫌い』に焦点を当て、なぜ・いつごろから嫌いかを絵グラフで表しました。漢字学習の仕方のヒントになりそうです。また、1年生から4年生までの漢字640字の画数を調べ、棒グラフに表しました。学年ごとに色分けしているので、どの学年が何画から何画の漢字を習うのか、どの画数の漢字が多いのかいろんなことが読み取れるグラフだと感じました。

「ふぞくっ子 ぼくたち私たちが学んだ楽しかった高野山合宿」では、高野山合宿の思い出について、学年のみんなにアンケートをとり、工夫した絵グラフ、折れ線グラフ、棒グラフに表せていました。どのグラフも男女に分けているので、男女の相違点が分かります。

「みんなの中の海」は、海についてアンケートをとり、調べた項目をグラフに分かりやすく表すことができました。海が大好きな人にとって、興味深い統計だと思います。

絵グラフ一つとってもいろんな表現方法があり、どの作品もそれぞれグラフの特徴を生かしていました。

第3部 小学校5・6年生の作品

第3部の作品の中から、特選1点、入選2点、佳作2点の合計5点が入賞しました。

「～日本列島が危ない～台風にご用心！！」では、台風とはどのようなものかという疑問から過去の台風についていろんなデータを集め、グラフも立体的に工夫して表現し、興味深い作品でした。和歌山県にもたくさん来ていること、死者・負傷者も多いので、怖いなと思いました。

「特殊詐欺にご用心」では、現在被害が拡大している特殊詐欺について、月別・男女別・年齢別被害者数等、いろんな方面から調べ、様々なグラフに表すことができました。これを見た人は「特殊詐欺に気を付けよう！」と思わせる作品です。

「温泉地 和歌山にG 」は、和歌山県の有名な温泉地について、5年間の宿泊客数・日帰り客数等を調べ、折れ線グラフに表しています。背景の工夫、グラフから分かることを詳しく考察しているところがいいですね。

「子どもをふやすことが和歌山を明るくする」「大切にしよう！！犬猫の命」この2作品については、テーマにインパクトがあり、現在の社会問題を取り扱っていることに大変興味を惹かれました。いろいろ調べ、データを分かりやすくグラフにされていて、これを見ている人に考えてもらおうきっかけとなる作品です。

第4部 中学生の作品

第4部の作品から、入選1点、佳作1点が入賞しました。

「日本の食の現状」では、食料自給率が低い日本の現状に危機感を覚え、何とかしなければという作者の思いがこの『グラフとまとめ』に込められていると感じました。

「STOP！！喫煙」では、喫煙による健康被害が叫ばれている現在、このデータ、グラフから少しでも喫煙が減り、みんなが健康に生きられたらいいと感じました。

パソコン統計グラフの部

パソコン統計グラフの部からは、特選1点、佳作1点が入賞しました。

「がんの恐怖！」は、がんの部位別死亡数等、データを表・棒グラフ・円グラフに表し、そこから自分の考え・コメントを書き、いろんな発見があったことが分かりました。

「僕たち私たち ふぞくっ子 楽しかった思い出と希望の未来」は、アンケートから思い出や未来をグラフに工夫して表すことができました。この作品に作者の附属への思いが込められているように感じました。

以上、部門ごとに入賞作品を中心に感想を書かせていただきました。多数の応募ありがとうございました。

これからも、身近な問題、社会・経済・環境問題等、問題意識、興味・関心をもったことをより分かりやすく、見ている人に自分の考えや思いを訴えるために、データを集め、グラフに表すことに取り組んでほしいと思います。

次回も多数のご応募を期待しています。